

平成 24 年 12 月 27 日

株式会社三菱東京 UFJ 銀行

ヴェียดนาม銀行との資本・業務提携について

株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 ^{ひらの のぶゆき} 平野 信行）は、ベトナムの国営大手銀行の一つであるヴェียดนาม銀行（Vietnam Joint Stock Commercial Bank for Industry and Trade）と、株式引受契約および業務提携契約を、2012 年 12 月 27 日付で締結いたしました（以下、本提携）。今後、関係当局の認可等を前提として、ヴェียดนาม銀行株式の約 20%を取得すると共に、取締役 2 名を派遣し、持分法適用会社とする予定です。

1. 本提携の目的

本提携は、アジアビジネスのステージアップを目指す三菱東京 UFJ 銀行のアジア戦略の一環として、ヴェียดนาม銀行との協働により、経済発展に伴う高成長が期待されるベトナムにおいて、同国に進出する日系企業に対するサービス向上等、当行業務の拡大を狙いとしています。

ベトナムは、長期に亘り継続的に高い経済成長を維持しており、今後も金融サービスの拡大が期待される有望な市場です。また、日本と深い関わり合いを有しており、多くの日系企業が同国に進出しております。

そのなかで、ヴェียดนาม銀行はベトナム最大級の資産規模を誇る国営大手銀行であり、同国において幅広い顧客基盤・店舗ネットワーク・現地情報を保持し、多様な金融サービスを提供しております。

三菱東京 UFJ 銀行は、1996 年にホーチミン支店を、1998 年にハノイ支店を設置し、同国において日系企業の支援に努めてまいりました。本提携により、同国においてより一層、充実した総合的な金融サービスを幅広く提供し、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

2. 資本提携の概要

- (1) 出資形態：三菱東京 UFJ 銀行はヴェียดนาม銀行が実施する第三者割当増資に応じることにより、ヴェียดนาม銀行株式（希薄化後発行済株式の約 20%）を取得。三菱東京 UFJ 銀行はベトナム政府に次ぐ第 2 位の主要株主に、ヴェียดนาม銀行は三菱東京 UFJ 銀行の持分法適用会社になる予定
- (2) 出資総額：約 15.5 兆ベトナムドン（約 631 億円、約 7.42 億米ドル）
- (3) 取得価額：一株当たり 24,000 ベトナムドン
- (4) 出資時期：関係当局の認可等を前提に、2013 年中の完了を予定
- (5) 役員派遣：三菱東京 UFJ 銀行から 2 名のヴェียดนาม銀行取締役を派遣する予定

3. 業務提携の概要

両行が有するノウハウや顧客基盤を活かし、キャッシュ・マネジメント・サービスや決済業務等、ベトナム市場に進出する日系企業のお客さまへのサービス拡充を図ります。

併せて、ヴィエティンバンクにおける銀行経営の高度化を推進すべく、三菱東京 UFJ 銀行が有するリスク管理等のノウハウ提供など、技術支援を提供いたします。

4. ヴィエティンバンクの概要

名称	Vietnam Joint Stock Commercial Bank for Industry and Trade
本店所在地	ベトナム社会主義共和国ハノイ市
設立年	1988年
従業員数	18,622名(2011年12月末時点)
支店・出張所数	1,274(2011年12月末時点)
純資産(連結)	約28.7兆ドン(約1,171億円、2011年12月末時点)
総資産(連結)	約460.6兆ドン(約1兆8,792億円、2011年12月末時点)
時価総額	約53.2兆ドン(約2,171億円、2012年12月26日時点株価終値を基準)
上場証券取引所	ホーチミン証券取引所(2009年7月上場)

以上

ベトナム市場の現況

- ベトナムはGDP成長率・貸出残高とも高成長
- VietinBankは総資産残高ベースで第2位の規模を誇る(ベトナム上場銀行の中では最大)

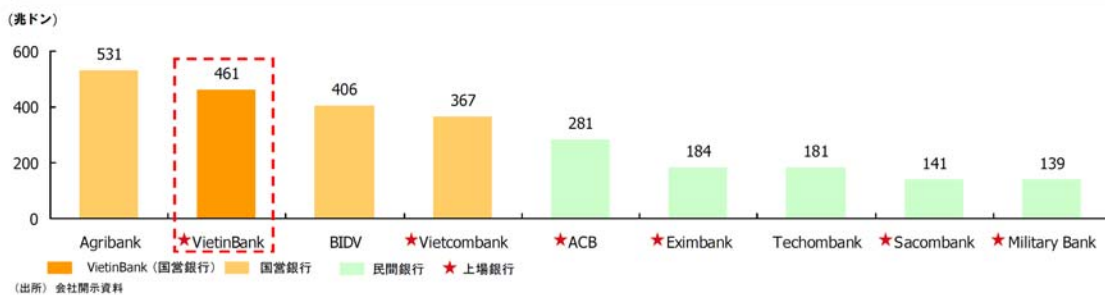
実質GDPの推移



ベトナム銀行業界における貸出残高の推移



総資産残高ランキング (2011年12月末時点)^{*2}



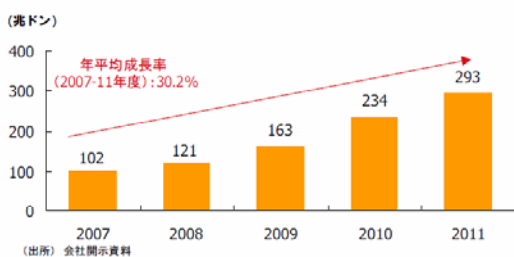
*1 名目GDPにおける年平均成長率(2007-11年度): 22.0%

*2 Agribank: 2010年12月末時点

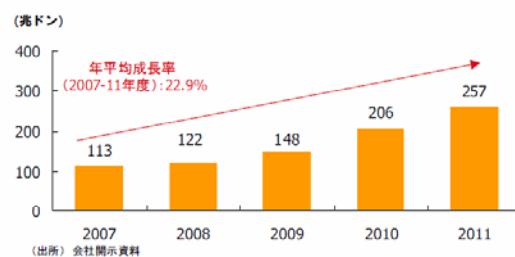
VietinBankの財務概要

- ベトナム屈指の優良銀行として、過去継続的に高成長を維持
- 不良債権比率は類似行対比、低い水準に留まる

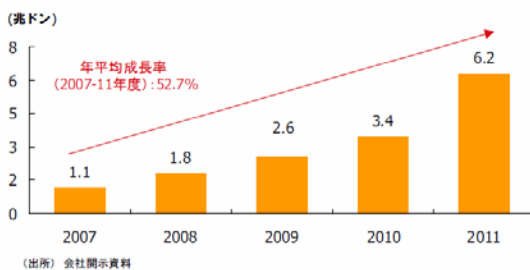
貸出金



預金



当期純利益



不良債権比率 (2012年9月末時点)

